

家畜市場 価格の推移 (2月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重
スモール	雌	14	11	78.6%	237,600	1,080	65,109
	雄	121	118	97.5%	150,120	9,720	100,842
計	135	129	95.6%	237,600	1,080	97,136	62
F1	雌	215	205	95.3%	253,800	54,000	179,813
	雄	212	196	92.5%	381,240	36,720	243,366
計	427	401	93.9%	381,240	36,720	211,366	66
ホルス(5才) 雌	31	29	93.5%	426,600	74,520	206,628	762

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
根室	5日	202	171	84.7%	1,193,400	617,760	910,611
十勝	6日	528	467	88.4%	1,705,320	521,640	985,698
北海道	9日	83	77	92.8%	1,527,120	703,080	910,875
豊富	15日	272	266	97.8%	1,110,240	378,000	885,239
根室	19日	352	331	94.0%	1,709,640	490,320	1,075,210
釧路	20日	278	258	92.8%	1,307,880	648,000	1,002,445
十勝	21日	528	505	95.6%	1,546,560	599,400	1,067,102
北見	22日	318	285	89.6%	1,408,320	395,280	1,039,926
合計		2,561	2,360	92.2%	1,709,640	378,000	984,638

業務報告 (2月分)

- 1日 中国生乳販連理事会
- 1日 HJC協同組合学校
- 1日 甲奴郡酪農組合女性部年始め
- 2日 個体識別システム定着化事業に係る意見交換会
- 5日 第七回JA合併推進委員会
- 5日 甲奴郡酪農組合役員会
- 6日 (一社)全国酪農協会の監事会
- 6日 庄原市酪農連絡協議会総会
- 6日 城南中学校出前講座
- 7日 建物等解体撤去工事に係る開札
- 7日 消費軽減減税率説明会
- 8日 東部DMS入力会
- 8日 西日本酪農青年女性会議三役・事務局会議(九日迄)
- 8日 備北・南部DMS入力会
- 9日 西部DMS入力会
- 9日 中国生乳販連理事会・生乳受託販売委員会
- 9日 全酪連セミナー
- 9日 建物等解体撤去工事に係る業者選定会議
- 14日 女性・リタイヤ世代等就農定着推進検討委員会
- 14日 酪農未来塾(十五日迄)
- 15日 庄原市農業再生協議会臨時総会
- 15日 JA経営対策担当課長会議
- 15日 退職準備セミナー
- 15日 ヘルパー調整会議
- 16日 牛群検定ブロック会議(十六日迄)
- 16日 日本酪農政治連盟事務局長会議
- 16日 北広島町酪農団体連絡協議会新年会
- 16日 乳量データ収集システム勉強会
- 20日 Jミルク酪農乳業産業界基盤強化特別対策事業説明会
- 20日 牛群検定指導者研修会(二十一日迄)
- 20日 第十一回理事会
- 21日 沼北小学校出前講座
- 22日 第八回JA合併専門検討委員会
- 22日 女性・リタイヤ世代等就農定着推進事業交流会
- 23日 (株)グリーンウインズさとやま取締役会
- 23日 広島県学校給食用牛乳供給推進協議会
- 23日 中国生乳販連役員実務責任者会議
- 23日 全農会員等乳牛担当者会議
- 23日 衛生指導協会業務推進会議
- 26日 広酪メンバースクラブ監査会・役員会
- 26日 東部DMS入力会
- 26日 生乳格付検査補助員会議
- 26日 備北・南部DMS入力会
- 28日 西部DMS入力会

編集後記



- ▼最近、「爆弾低気圧」の言葉を耳にする機会が増えました。
- ▼爆弾低気圧とは「急速に発達する温帯低気圧」のことを云うそうです。
- ▼気象庁では、中心気圧が二十四時間以上低下する温帯低気圧(φは緯度)と定義し、たとえば北緯四十度なら十七・八hPa/二十四hとなるそうです。
- ▼この説明でも、本音のところ素人では良く分からず、小職もその一人です。
- ▼気象庁は「爆弾」という用語が不適切であるとして、気象用語としては使用せず、「急速に発達する低気圧」と表現しているそうです。
- ▼酪農関係の間では、既に「耳にタコ」状態かと思いますが、都府県の生乳生産基盤の脆弱化の進行に歯止めが効きません。
- ▼都府県の生乳不足を補う対応として、北海道産の生乳は高速大型船「ほくれん丸」に積み込まれピーク時には、一日に一リットルの牛乳で約百万本分が本州に運ばれています。
- ▼北海道「釧路港」ではしぼり立ての生乳が積み込まれたミルクタンクは、続々と「ほくれん丸」に乗り込み十八時に出港、翌日の十四時には茨城県の「日立港」に到着し、そこから関東圏の乳業メーカーなどへ向かい首都圏への三日目配送がかなえられているそうです。
- ▼この海上航路は千キロ近い中で、新鮮さを毎日リレーするホクレンの物流体制が構築されています。
- ▼しかし、今年に入って前述の爆弾低気圧の影響からこの航路は休止となり、都府県の生乳需給に影響をもたらしました。
- ▼本誌二月号(No.二百八十七)の巻頭記事では、生乳生産基盤回復はどうする?と冠する情報を提供しました。
- ▼Jミルクによる今年九月の都府県における生乳需給不均衡量は、六・五万トンの発生を予測し、この内六万トンは北海道からの移入に依存せざるを得ないとし、残る五千トンは都府県の生乳増産への期待感が示されています。
- ▼北海道から都府県への生乳の移入手段は、

市町別生乳受託量の進捗状況(2月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	29年度累計	前年比(累計)
庄原市	755.5	22.3%	94.8%	9,516.9	96.5%
三次市	563.7	16.7%	89.4%	7,233.5	95.0%
世羅町	526.6	15.6%	97.9%	6,590.9	100.7%
北広島町	404.5	12.0%	103.5%	4,897.5	105.8%
安芸高田市	308.9	9.1%	86.2%	4,073.8	98.7%
東広島市	296.5	8.8%	99.5%	3,472.0	96.0%
府中市	195.5	5.8%	102.8%	2,320.9	97.0%
福山市	122.7	3.6%	92.5%	1,440.5	99.9%
広島市	74.2	2.2%	108.5%	874.9	97.8%
三原市	71.5	2.1%	88.2%	879.1	83.4%
呉市	48.4	1.4%	100.7%	578.4	102.8%
神石高原町	13.3	0.4%	24.1%	238.2	32.5%
合計	3,381.1	100.0%	94.2%	42,116.7	96.8%

プール乳価(2月分)

プール乳価	111.195円
前月分プール乳価	109.889円
前月対比	101.2%

生乳生産量など前年同期比較(2月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	56戸	45.2%	201,722.6
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	68戸	54.8%	-287,905.1
合計	124戸	100.0%	-86,182.5

注)この比較は、平成30年2月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(廃業組合員は含まない)

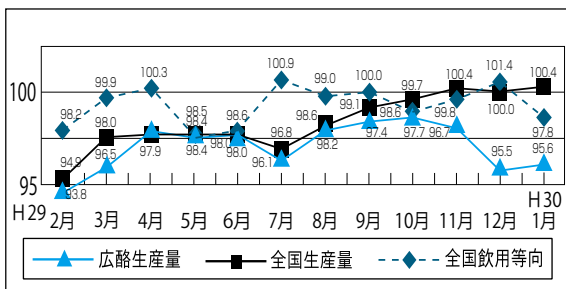
生乳受託実績(2月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	38	11	38	37	124
生乳出荷量(トン)	1,182.8	344.9	787.6	1,065.9	3,381.1
前年同月対比(%)	92.3%	99.7%	96.3%	93.2%	94.2%
前月対比(%)	88.8%	94.2%	90.3%	88.4%	89.5%
生乳出荷累計(トン)	15,036.8	4,050.4	9,846.2	13,183.3	42,116.7
広酪構成比(%)	35.7%	9.6%	23.4%	31.3%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(1月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	45,443	851	29.15%	53.4
2	三次市	38,983	630	25.01%	61.9
3	安芸高田市	17,861	364	11.46%	49.1
4	府中市	14,761	221	9.47%	66.8
5	北広島町	11,272	432	7.23%	26.1
6	福山市	7,672	135	4.92%	56.8
7	世羅町	7,323	602	4.70%	12.2
8	東広島市	5,604	311	3.59%	18.0
9	三原市	4,805	82	3.08%	58.6
10	神石高原町	1,329	16	0.85%	83.1
11	呉市	421	55	0.27%	7.7
12	広島市	413	77	0.26%	5.4
	合計	155,889	3,776	100.00%	41.3

生乳需給の前年比推移(1月) (単位:%)



「ほくれん丸」によるものとなる中で、昨今、爆弾低気圧に代表される自然災害等から、その航路は遮断され生乳流通に影響を与え、こうしたことは発生してはなりません。こうした場合、都府県の生乳生産基盤の回復を急ぎ、消費者から求められる生乳需要の期待に応えることは極めて重要と云えるのでは無いでしょうか。

▼広酪への生乳受託販売契約書を締結戴いた生乳出荷組合員の皆さんには、まずは、平成三十年度の委託販売計画数量100%の必達のもとで、生乳供給責任への期待に応えて戴くことを願ってやみません。

▼話題一転、生乳流通の一義的責任を担ってもらう運送業界事情において、乗務員不足の影響が出始めており、この波は、広酪にも押し寄せています。

▼この課題解決にあたっては、集乳路線の更なる効率化・合理化を図るため調整を進めることとなります。

▼調整では、①集乳車両の減車、②集乳車両積載量の充足調整、③酪農家への集乳車両進入道路等の確認・調整、④酪農家に集乳時間の変更を理解を求め、行動など様々なことを考慮した対応が必要となります。

▼場合によっては、これに乳業者側の営業商品「産地指定牛乳」を踏まえた路線調整の必要が生じますが、こうした営業商品のアイテムが多いほど、また、しかもPB商品であれば更に問題解決に複雑さが増します。

▼このほか、前述の乗務員不足や平成二十九年十一月四日に国土交通省が発表の「標準貨物自動車運送約款等の改正」を受けて、集乳運賃の値上げへの要望の声が高まっています。

▼広酪では、先に生乳出荷組合員との間に交わした平成三十年度の生乳受託契約書に明記した経費負担(集乳経費)の引き上げにならぬよう努力をしておりますが、ここで課題なのが、集乳路線毎に基づく「産地指定牛乳」の複数商品化を進める乳業者に及ぶ集乳路線の組み方等の調整に頭を抱えています。

▼様々な変化の中で、側に配席の担当職員から「ため息」が漏れ聞こえてきます。

(A・N)